

基本目標 1 安定した雇用を創出する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	令和2年度実績値に対する所見
創業支援事業に基づく新規創業件数	0件(平成26年)	7件(6年間)	目標値	0	1	1	1	2	2	7	A	創業支援等事業計画の認定を受け、関係団体の連携により3件の創業が実現した。また、商工会議所による創業支援セミナーが開催され延40人(実13人)が参加した。今後とも関係団体が連携して創業希望者を支援する。
			実績値	0	4	3	3	2	3	15		
新たな雇用者数	0人(平成26年)	40人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	40	—	D	内訳 介護人材育成支援事業:0人、雇用創出事業:0人、看護学生修学資金貸与事業:14人 ・介護人材育成支援事業は、令和2年度から、研修受講後、引き続き1年以上就労した場合につき、補助要件の対象としたことから、2年度の実績は0となったが、令和3年度以降については、初任者研修のほか、介護福祉士実務者研修についても補助対象としており、介護人材の確保に努めている。 ・雇用創出事業は、助成対象となる施設の新設があったものの、市内居住者の新規雇用者がいないことから、雇用の助成が生じなかった。 ・看護学生修学資金貸与事業は、学資金返還免除制度の復活により進学希望者を除く学生が当院に就職したが、近年の退職者の減少に伴い、採用者も減少となった。
			実績値	5	0	27	22	22	14	—		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	令和2年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 産業の競争力強化											
1) 農作物のブランド化の推進											
クリーン農業推進事業	特裁米等の作付農家数 ／5戸(平成26年)→20戸(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	20	—	C	特別栽培米の作付農家は昨年度より1戸減で推移。今後も、当該補助制度を農業者へ周知し、特裁米作付農家の増加を図る。
		実績値	—	11	16	16	13	12	—		
2) 6次産業化の取り組みの推進											
農業6次産業化整備促進事業	6次産業実施農家数 ／2戸(平成26年)→5戸(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	5	—	A	農業者へ、国・道の補助事業のほか、各種情報提供を行い、6次産業化の促進を図る。
		実績値	2	4	6	7	7	7	—		
3) 商工業振興策の実施											
商店街空き店舗対策事業	空き店舗解消数 ／6件(6年間)	目標値	1	1	1	1	1	1	6	A	新規創業が5件あり、空き建築物を活用した新規開店が4件あったため。今後も本条例の周知の他、創業支援事業計画とも連動させ新規創業を促進する。
		実績値	4	6	2	2	1	4	19		
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数 ／7件(6年間)	目標値	0	1	1	1	2	2	7	A	創業支援等事業計画の認定を受け、関係団体の連携により3件の創業が実現した。また、商工会議所による創業支援セミナーが開催され延40人(実13人)が参加した。今後とも関係団体が連携して創業希望者を支援する。
		実績値	0	4	3	3	2	3	15		
地域ブランド構築事業	チームを構成する事業者数 ／5事業者(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	5	—	A	オアシスリパブリックプロジェクトの活動を進めていくことで認知度が向上し、プロジェクトに参加する事業者数が増えている。今後とも地域内での認知度を向上させるべく取り組みを進める。
		実績値	—	—	—	—	21	30	—		
	地域ブランドの商品数 ／10品(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	10	—	A	新型コロナウイルス感染症の拡大により展示会等への出展は中止となったが、オアシスリパブリックプロジェクトに参加する事業者同士の連携商品を4つ生み出した。今後とも連携商品を生み出していきたい。
		実績値	—	—	—	—	22	26	—		
(2) 人材育成、雇用対策											
1) 農業の担い手の確保・育成											
担い手育成支援事業	基盤整備を実施し経営の効率化を図った面積 ／20ha(6年間)	目標値	0	0	5	5	5	5	20	B	平成29年度より国の補助要件が変更になり、農家にとって使いにくい補助となった。基盤整備の要望はあることから、取り組みやすい補助メニューの調査検討が必要。
		実績値	11.58	7.61	0	0	0	0	19.19		
農作業受託組織支援事業	農作業受託面積 ／280ha(平成26年)→320ha(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	320	—	C	現在、水稲の防除(農薬散布等)は浦臼町の無人ヘリコプター防除の組織へ委託しているが、継続が難しくなってきた。今後、JAと連携し、水稲の防除を担う受託組織の育成について検討を進める。
		実績値	295	261	237	214	202	200	—		
農業後継者Uターン支援事業	市内移住した農業後継者数 ／3人(6年間)	目標値	0	0	0	1	1	1	3	C	農業後継者(農家の子息等)の情報収集を進めるとともに、支援方法の検討をする。
		実績値	1	0	0	1	0	0	2		
スマート農業推進事業	取り組みを行った技術体系の数 ／2種類(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	2	—	C	経営継続支援補助金が制定され、スマート農業推進事業補助金の補助率より良かったため活用されなかった。
		実績値	—	—	—	—	0	1	—		
2) 医療従事者の確保・育成											
看護学生修学資金貸与事業	砂川市立病院への就業者数 ／32人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	32	—	D	学資金返還免除制度の復活により進学希望者を除く学生が当院に就職された。しかし、近年の退職者の減少に伴い、採用者も減少した。今後も引き続き学資金等の説明を行い安定確保に努める。
		実績値	—	—	24	19	21	14	—		

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%未満

基本目標 1 安定した雇用を創出する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	6年間の総合評価
創業支援事業に基づく新規創業件数	0件(平成26年)	7件(6年間)	目標値	0	1	1	1	2	2	7	A	総合評価:創業支援等事業計画に基づく創業セミナーへの参加などを機に、創業希望者に対し、関係機関と連携しながら継続的に支援できる体制も徐々に整うことで、安定的な創業者の創出に繋がっている。
			実績値	0	4	3	3	2	3	15		
新たな雇用者数	0人(平成26年)	40人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	40	—	D	総合評価:6年間の新規雇用者数(介護人材育成支援事業:11人、雇用創出事業:1人、看護学生修学資金貸与事業:78人) ・介護人材育成支援事業は、令和2年度に要件を一部見直したことから、目標値に対し、実績が下回ったが、介護サービスの質の向上と人材育成・確保に向けた事業所(社会福祉法人)の積極的な取り組みに繋がることから、今後も継続し介護人材の安定確保に努めていく。 ・雇用創出事業は、企業の新設等は定期的にあつたものの、市内居住者の新規雇用には繋がっていない。雇用人数の増加と共に市内居住者が雇用されるよう働きかけをしていく必要がある。 ・看護学生修学資金貸与事業は、学資金返還免除制度の復活により進学希望者を除く学生が市立病院に就職しており、医療職の人材確保につながっている。
			実績値	5	0	27	22	22	14	—		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	6年間の総合評価	今後の方向性
(1) 産業の競争力強化												
1) 農作物のブランド化の推進												
クリーン農業推進事業	特裁米等の作付農家数 /5戸(平成26年)→20戸(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	20	—	C	総合評価: 補助の導入により、安心安全な米作りが促進された。特に特別栽培米の「ゆめびりか」では、最高金賞を受賞するなど高付加価値・高品質な米作りを推進できた。	現状のまま継続
		実績値	—	11	16	16	13	12	—			
2) 6次産業化の取り組みの推進												
農業6次産業化整備促進事業	6次産業実施農家数 /2戸(平成26年)→5戸(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	5	—	A	総合評価: 国の6次産業化支援制度等を活用し、農業経営所得の向上や地域の活性化を図る目的で事業を進めているが、事業収支が折り合わないなど、6次産業化への取り組みが少なくなってしまった。	現状のまま継続
		実績値	2	4	6	7	7	7	—			
3) 商工業振興策の実施												
商店街空き店舗対策事業	空き店舗解消数 /6件(6年間)	目標値	1	1	1	1	1	1	6	A	総合評価: 平成28年度に策定した創業支援計画に基づき実施している、商工会議所等関係機関との連携による相談業務等により、補助金申請のサポートなど、よりスムーズで細やかな支援体制が整備されたことが実績値の増に繋がっている。引き続き、関係機関との連携により創業・開業者のサポート体制の強化を図ることで市内空き店舗解消を推進していく。	現状のまま継続
		実績値	4	6	2	2	1	4	19			
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数 /7件(6年間)	目標値	0	1	1	1	2	2	7	A	総合評価: 創業支援等事業計画に基づく創業セミナーへの参加などを機に、創業希望者に対し、関係機関と連携しながら継続的に支援できる体制も徐々に整うことで、安定的な創業者の創出に繋がっている。	現状のまま継続
		実績値	0	4	3	3	2	3	15			
地域ブランド構築事業	チームを構成する事業者数 /5事業者(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	5	—	A	総合評価: 本事業は「異業種が一塊になってチームを構成」、「事業者間の連携」を図り事業を実施している。事業者の売上拡大・販路開拓を目的としていることから、更なる事業者数の拡大を目指したい。	現状のまま継続
		実績値	—	—	—	—	21	30	—			
	地域ブランドの商品数 /10品(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	10	—	A	総合評価: 連携商品を生み出しているが、販路開拓・売上拡大に結び付いていない。消費者目線に立ってより商品を磨き上げを行っていきたい。	現状のまま継続
		実績値	—	—	—	—	22	26	—			
(2) 人材育成、雇用対策												
1) 農業の担い手の確保・育成												
担い手育成支援事業	基盤整備を実施し経営の効率化を図った面積 /20ha(6年間)	目標値	0	0	5	5	5	5	20	B	総合評価: 平成29年度以降は国の補助要件が変更になり、実績がなくなりましたが、小規模ではあるが基盤整備の実施が図られた。	手段の見直し
		実績値	11.58	7.61	0	0	0	0	19.19			
農作業受託組織支援事業	農作業受託面積 /280ha(平成26年)→320ha(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	320	—	C	総合評価: 水稻の防除(農薬散布等)は浦臼町の無人ヘリコプター防除の組織へ委託しており、実績は減少傾向である。	現状のまま継続
		実績値	295	261	237	214	202	200	—			
農業後継者Uターン支援事業	市内移住した農業後継者数 /3人(6年間)	目標値	0	0	0	1	1	1	3	C	総合評価: 一定程度ではあるが、砂川から離れた農業後継者が市内に戻っており、支援体制が図られている。	現状のまま継続
		実績値	1	0	0	1	0	0	2			
スマート農業推進事業	取り組みを行った技術体系の数 /2種類(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	2	—	C	総合評価: 令和2年度は経営継続支援補助金が制定されたため、活用がなかったが、購入した農家からは一定程度の効果が現れている。	現状のまま継続
		実績値	—	—	—	—	0	1	—			
2) 医療従事者の確保・育成												
看護学生修学資金貸与事業	砂川市立病院への就業者数 /32人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	32	—	D	総合評価:学資金返還免除制度の復活により進学希望者を除く学生が当院に就職された。病院説明会などにおいて学資金等の説明を行ったことから、安定確保に繋がったため、一定の成果を出すことができた。	現状のまま継続
		実績値	—	—	24	19	21	14	—			

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	令和2年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
3) 介護従事者の確保・育成											
介護人材育成支援事業	介護資格取得者数 ／18人(6年間)	目標値	3	3	3	3	3	3	18	C	令和2年度から、研修受講後、引き続き1年以上就労した場合につき、補助要件の対象としたことから、2年度の実績は0となったが、令和3年度以降については、初任者研修のほか、介護福祉士実務者研修についても補助対象としており、介護人材の確保に努めている。
		実績値	5	0	3	2	1	0	11		
4) 企業立地等の促進による就労の拡大											
雇用創出事業 (企業振興促進対策事業)	施設新設等を行なった企業の新規雇用者数 ／30人(6年間)	目標値	5	5	5	5	5	5	30	D	前年度、助成対象となる工場施設の増築があり、当該企業で、5名の雇用増加はあったものの、市外居住者であったことから、助成の対象とならなかった。今後も、企業訪問やパンフレットの配布、ホームページで周知活動に努める。
		実績値	0	0	0	1	0	0	1		
5) ICTを活用した子どもの育成											
ICT人材育成事業	ICT人材育成事業参加者数 ／319人(平成26年)→440人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	440	—	B	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、事業内容が変更されICTの活用が図られた。一部事業が中止となったため、前年度比29人参加者数減少し、目標値については若干下回る実績となった。
		実績値	425	526	886	1,255	459	430	—		
6) ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進											
ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業 (平成28年度:ジョブスタート事業)	市内の就職人数 ／450人(令和2年)	目標値	—	—	415	425	450	450	—	C	新型コロナウイルス感染症の影響で全国的に有効求人倍率が低下しているが、砂川市では、1倍以上の有効求人倍率となっており、依然人手不足であることが見られ、目標の達成には至っていない。長期的な取り組みが必要であることから、引き続き同様の取り組みを継続していく。
		実績値	—	—	367	368	309	253	—		
	地元高校から市内企業に就職した割合 ／65.4%(令和2年)	目標値	—	—	30.4	45.4	65.4	65.4	—	C	昨年度と同等程度の割合を維持している。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で予定事業が開催できなかったが、コロナ禍でも開催可能な事業を模索し、引き続き取り組みを継続していく。
		実績値	—	—	20.0	44.7	36.7	36.2	—		
	地元の参加企業数 ／15社(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	15	—	C	新型コロナウイルス感染症の影響で予定事業の開催ができなかったことから、実績も少なくなっている。
		実績値	—	17	35	43	42	10	—		

小計(事業数:14、KPI数:17)

KPIの達成度／達成度A:5個 達成度B:2個 達成度C:8個 達成度D:2個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%未満

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	6年間の総合評価	今後の方向性
3) 介護従事者の確保・育成												
介護人材育成支援事業	介護資格取得者数 ／18人(6年間)	目標値	3	3	3	3	3	3	18	C	総合評価: 令和2年度に要件を一部見直したことから、目標値に対し、実績が下回ったが、介護サービスの質の向上と人材育成・確保に向けた事業所(社会福祉法人)の積極的な取り組みに繋がることから、今後も継続し介護人材の安定確保に努めていく。	現状のまま継続
		実績値	5	0	3	2	1	0	11			
4) 企業立地等の促進による就労の拡大												
雇用創出事業 (企業振興促進対策事業)	施設新設等を行なった企業の新規雇用者数 ／30人(6年間)	目標値	5	5	5	5	5	5	30	D	総合評価: 企業の施設等は定期的にあったものの、市内居住者の新規雇用は少ない状況となっている。雇用人数の増加と共に市内居住者が雇用されるよう働きかけを行っていく必要がある。	現状のまま継続
		実績値	0	0	0	1	0	0	1			
5) ICTを活用した子どもの育成												
ICT人材育成事業	ICT人材育成事業参加者数 ／319人(平成26年)→440人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	440	—	B	総合評価:新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、重要業績評価指標は目標値を若干下回っているものの、子どもたちがICTを活用する事業に継続して取り組み、一定の成果を上げているものと考えられる。	現状のまま継続
		実績値	425	526	886	1,255	459	430	—			
6) ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進												
ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業 (平成28年度:ジョブスタート事業)	市内の就職人数 ／450人(令和2年)	目標値	—	—	415	425	450	450	—	C	総合評価: 新型コロナウイルス感染症の影響で全国的に有効求人倍率が低下しているが、砂川市では、1倍以上の有効求人倍率となっており、依然人手不足の状況である。企業における人材育成支援等を行い、市内企業へ定着を図っていく必要がある。	現状のまま継続
		実績値	—	—	367	368	309	253	—			
	地元高校から市内企業に就職した割合 ／65.4%(令和2年)	目標値	—	—	30.4	45.4	65.4	65.4	—	C	総合評価: 同等程度の就職割合を維持しており、一定程度の事業効果はあると判断する。新型コロナウイルス感染症の影響で予定事業が開催できない状況だが、開催方法の見直し等を行い引き続き取り組みを継続していく。	
		実績値	—	—	20.0	44.7	36.7	36.2	—			
	地元の参加企業数 ／15社(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	15	—	C	総合評価: 一定程度の参加企業数は確保されている。新型コロナウイルス感染症の影響で予定事業が開催できない状況だが、開催方法の見直し等を行い引き続き取り組みを継続していく。	
		実績値	—	17	35	43	42	10	—			

小計(事業数:14、KPI数:17)

KPIの達成度／達成度A:5個 達成度B:2個 達成度C:8個 達成度D:2個

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	令和2年度実績値に対する所見
砂川市の転出超過数	205人(平成26年)	150人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	150	—	A	転出者数は近年同水準で推移しているものの、今年度は転入者が減少したため、転出超過数が増加している。
			実績値	111	57	47	107	70	140	—		
観光入込客数	1,329千人(平成26年)	1,342千人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	1,342	—	C	多くの集客が見込まれる「ハイウェイオアシス館」と「北海道子どもの国」の観光客が新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、前年度より50%以上(△678千人)減ったことから、市内全体の観光入込客数が大きく減少となった。
			実績値	1,234	1,209	1,413	1,623	1,625	879	—		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	令和2年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 移住の推進											
1) 移住定住の促進											
移住定住促進事業	ワンストップ窓口を通しての移住者数 ／8人(6年間)	目標値	0	0	2	2	2	2	8	A	本年のお試しハウス利用は、コロナ禍により、延3組9人と昨年より減少した。また、移住者は0人であったが、市HPや、協力隊Fb等によりまち全般の幅広い情報発信をしている他、コロナ禍における新たな取組としてオンライン移住相談会の実施やオンライン移住フェアに参加した。今後も引き続き情報提供の充実及び関係人口の増加を図る。
		実績値	0	6	0	2	0	0	8		
農業体験事業	新規就農者数 ／7人(6年間)	目標値	—	0	1	2	2	2	7	C	新規就農者の募集を行うとともに、関係機関との受入体制の強化を図る。
		実績値	—	0	2	0	2	1	5		
(2) 観光の活性化等を通じた交流人口の増加											
1) 観光振興の推進											
情報発信による観光振興事業	ホームページアクセス件数 ／254,000件(平成26年)→354,000件(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	354,000	—	A	目標値を大きく上回り、前年比31%増となった。要因としては、LINEにより広報誌の発行の案内を行うようにしたこと、他部署においてもLINEを活用し情報発信をできるようになったことで、直接ホームページへアクセスが可能となったことが大きいと考える。さらには、新型コロナウイルス等の影響により広報するイベントなどが激減したものの、関連する情報を掲載したことも要因のひとつと考える。今後も引き続きアクセシビリティ(使いやすさ)の水準を保持し、更新をこまめに行っていくなど基本的な管理も継続して行っていく。
		実績値	318,484	314,737	324,651	353,234	402,462	529,897	—		
市街地回遊誘導事業	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	260	—	A	スマートインターチェンジの浸透や効果的な観光PRにより、まちなか回遊を行う観光客は年々増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年度に比べ減少となった。今後は情勢を見定めながら、コロナ禍において可能な観光振興を推進する必要がある。
		実績値	235	220	261	392	405	337	—		
地域資源を核とした情報発信による観光客誘致事業	ポータルサイト年間アクセス数 ／19,500件(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	19,500	—	A	観光マップに加え、雑誌・テレビなどマスメディアを活用した効果的な情報発信により砂川の魅力を広く発信した事で、観光協会ホームページの閲覧件数が増加した。引き続き、観光協会と連携を図り、ポータルサイトの充実やフリーWi-Fiの普及に努める。
		実績値	—	915	77,810	93,204	132,246	132,477	—		
	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	260	—	A	スマートインターチェンジの浸透やインターネットを活用した効果的な観光PRにより、まちなか回遊を行う観光客は年々増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年度に比べ減少となった。今後は情勢を見定めながら、コロナ禍において可能な観光振興を推進する必要がある。
		実績値	—	220	261	392	405	337	—		
ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業(平成28年度:地域資源活用事業、着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業)	観光入込客数 ／1,234千人(平成27年度)→1,342千人(令和2年)[平成29年度新規]	目標値	1,234	—	—	—	—	1,342	—	C	多くの集客が見込まれる「ハイウェイオアシス館」と「北海道子どもの国」の観光客が新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、前年度より50%以上(△678千人)減ったことから、市内全体の観光入込客数が大きく減少となった。今後は情勢を見定めながら、コロナ禍において可能な観光振興を推進する必要がある。
		実績値	—	—	1,413	1,623	1,625	879	—		
	スイートロード協議会主催事業参加人数 ／1,335人(平成27年)→1,800人(令和2年)[平成29年度新規]	目標値	—	—	—	—	—	1,800	—	D	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、スイートロード協議会が主催する事業がほぼ中止となったことから実績値が大幅に減少した。今後は、計画されている事業について、情勢を見定めながら可能な範囲で実施していくものである。
		実績値	—	—	1,683	1,497	1,533	210	—		
	ふるさと納税返礼品「すながわスイーツ」の数 ／6,200件(6年間)[平成27・28年度:地域資源活用事業]	目標値	800	900	1,000	1,100	1,200	1,200	6,200	A	「すながわスイートロード」を素材とした観光PRを積極的に行った事で、ふるさと納税における「すながわスイーツ」の返礼件数及び全体に占める返礼割合が昨年度に比べ大幅に増加した。今後とも、ふるさと納税の促進につながる「すながわスイーツ」の情報発信を積極的に行い、砂川市の魅力の向上に努める必要がある。
		実績値	1,235	874	719	1,352	2,595	4,728	11,503		
DMO加盟団体数 ／10団体(令和2年)[平成27・28年度:着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業]	目標値	—	—	—	—	—	10	—	D	令和元年度をもって協議会が解散となり、今後においては、砂川市と滝川市の観光協会を中心とした情報交換などで連携を図っていくものである。	
	実績値	0	0	13	14	16	—	—			
(3) 高等学校の活性化											
1) 地元学校への進学促進											
砂川高校支援事業	砂川高校入学者数 ／100人(平成27年)→120人(令和2年)	目標値	100	—	—	—	—	120	—	C	令和2年4月の入学者は中学校卒業者の減少及び進学に特化した高校を選択する生徒の割合が高い傾向にあったことなどから、入学者数は前年度を下回った。中学生や保護者に砂川高校の特色や支援について理解してもらえるよう周知に努め、事業を継続していく。
		実績値	100	88	112	112	78	67	—		

小計(事業数:7、KPI数:11)

KPIの達成度/達成度A:6個 達成度B:0個 達成度C:3個 達成度D:2個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%未満

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	6年間の総合評価
砂川市の転出超過数	205人(平成26年)	150人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	150	—	A	総合評価: 転出者数は同水準で推移しているが、令和2年度は転入者が減少したため、転出超過数が増加傾向にある。
			実績値	111	57	47	107	70	140			
観光入込客数	1,329千人(平成26年)	1,342千人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	1,342	—	C	総合評価: スマートインターチェンジ開設による利便性の向上及びハイウェイオアシス館のリニューアル、また、雑誌やテレビなどマスメディアを活用した効果的な観光PRを行った事によって、市内全体の観光入込客数は年々増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度の観光客が大幅に減少となった。
			実績値	1,234	1,209	1,413	1,623	1,625	879			

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	6年間の総合評価	今後の方向性
(1) 移住の推進												
1) 移住定住の促進												
移住定住促進事業	ワンストップ窓口を通しての移住者数 ／8人(6年間)	目標値	0	0	2	2	2	2	8	A	総合評価: 移住希望者のニーズに応えた丁寧な対応が目標値の達成につながったと考えられる。また、当窓口を通じた移住者がコンスタントにいる状況にはないが、住宅施策(住替え支援など)を通じた転入者(移住者)も多いため、住むために魅力となる各種支援策を総合的に発信するなど、成果がすぐに表れるものではないが、今後も地道に取り組む必要がある。	現状のまま継続
		実績値	0	6	0	2	0	0				
農業体験事業	新規就農者数 ／7人(6年間)	目標値	—	0	1	2	2	2	7	C	総合評価: 農業体験での受入人数はいなかったため、体験を通して新規就農者の発掘が行われるよう改善を図りたい。	手段の見直し
		実績値	—	0	2	0	2	1				
(2) 観光の活性化等を通じた交流人口の増加												
1) 観光振興の推進												
情報発信による観光振興事業	ホームページアクセス件数 ／254,000件(平成26年)→354,000件(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	354,000	—	A	総合評価: アクセス件数は、イベントや災害、事件事故などの情報があった際に多くアクセスされており、都度情報の更新を行ってきたことにより、目標値を大幅に更新できていると評価する。また近年では、LINEを活用したことにより同時に普及率が上昇していると分析する。LINEやホームページは市長、部長、各課などにより更新作業が行えるため、今後も新しい情報や必要な情報を迅速に提供できるよう協力を仰ぎながら努めたいと考える。	現状のまま継続
		実績値	318,484	314,737	324,651	353,234	402,462	529,897				
市街地回遊誘導事業	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	260	—	A	総合評価: スマートインターチェンジ開設による利便性の向上や観光協会ホームページに加え、雑誌・テレビなどマスメディアを活用した効果的な観光PRを行ってきた事で、年々まちなか観光施設の入込客数が増加していたが、新型コロナウイルスの影響で令和2年度は減少となった。今後は情勢を見定めながら、まちなかの賑わい創出につながる取り組みの検討が必要である。	手段の見直し
		実績値	235	220	261	392	405	337				
地域資源を核とした情報発信による観光客誘致事業	ポータルサイト年間アクセス数 ／19,500件(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	19,500	—	A	総合評価: 観光協会ホームページのリニューアル以降、砂川の効果的な魅力の発信によって年々閲覧件数が増加している。引き続き、観光協会と連携し情報発信の充実を図っていくとともに、観光誘客につながるフリー-WIFIの普及に努める必要がある。	現状のまま継続
		実績値	—	915	77,810	93,204	132,246	132,477				
	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	260	—	A	総合評価: 観光協会ホームページに加え雑誌・テレビなどマスメディアを活用した効果的な観光PRを行ってきた事で、年々まちなか観光施設の入込客数が増加していたが、新型コロナウイルスの影響で令和2年度は減少となった。今後は情勢を見定めながら、まちなかの賑わい創出につながる取り組みの検討が必要である。	
		実績値	—	220	261	392	405	337				
ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業(平成28年度:地域資源活用事業、着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業)	観光入込客数 ／1,234千人(平成27年度)→1,342千人(令和2年)[平成29年度新規]	目標値	1,234	—	—	—	—	1,342	—	C	総合評価: 「すながわスイートロード」をはじめとする観光資源の充実や、雑誌・テレビなどマスメディアを活用した効果的な観光PRを行った事によって観光入込客数は年々増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度の観光客が大幅に減少となった。今後は情勢を見定めながら、観光需要の回復に向けた取り組みの検討が必要である。	手段の見直し
		実績値	—	—	1,413	1,623	1,625	879				
	スイートロード協議会主催事業参加人数 ／1,335人(平成27年)→1,800人(令和2年)[平成29年度新規]	目標値	—	—	—	—	—	1,800	—	D	総合評価: 官民連携組織である「すながわスイートロード協議会」が、すながわスイーツを活用した事業の実施及び効果的なPRを継続していることで「すながわスイートロード」の知名度向上が図られている。今後は、貴重なPR素材として事業を継続していくため、組織体制の強化が必要である。	
		実績値	—	—	1,683	1,497	1,533	210				
ふるさと納税返礼品「すながわスイーツ」の数 ／6,200件(6年間) [平成27・28年度:地域資源活用事業]	目標値	800	900	1,000	1,100	1,200	1,200	6,200	A	総合評価: 「すながわスイートロード」を素材とした効果的な観光PRを継続する事で、ふるさと納税における「すながわスイーツ」の返礼件数の増加、ひいてはふるさと納税の促進につながる事から、今後とも、積極的にスイートロード事業を展開していく必要がある。		
	実績値	1,235	874	719	1,352	2,595	4,728	11,503				
DMO加盟団体数 ／10団体(令和2年) [平成27・28年度:着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業]	目標値	—	—	—	—	—	10	—	D	総合評価: 砂川市と滝川市で連携し、DMOを設立するために協議会を立ち上げ3年間事業を展開してきたところであるが、様々な活動を行った中でDMO設立は困難であると判断され、令和元年度をもって協議会解散に至った。		
	実績値	0	0	13	14	16	—					
(3) 高等学校の活性化												
1) 地元学校への進学促進												
砂川高校支援事業	砂川高校入学者数 ／100人(平成27年)→120人(令和2年)	目標値	100	—	—	—	—	120	—	C	総合評価: 空知北学区における生徒の数が年々減少していく中、入学者数の増加につながるための取組として支援を拡充・拡大しながら支援を進めてきたところである。支援策の更なる充実とともに保護者等への周知が重要であることから、砂川高校や各中学校との連携をより綿密に図っていく必要がある。	現状のまま継続
		実績値	100	88	112	112	78	67				

小計(事業数:7、KPI数:11)

KPIの達成度/達成度A:6個 達成度B:0個 達成度C:3個 達成度D:2個

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	令和2年度実績値に対する所見
婚姻届出数	71.2件(平成22～26年平均)	480件(6年間)	目標値	80	80	80	80	80	80	480	C	近年は同水準で推移しているが、直近5年中、最も低い届出件数となっている。
			実績値	64	77	56	58	63	49	367		
合計特殊出生率	1.30(平成20～24年)	1.54程度(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	1.54	—	C	令和2年度の出生数は76人で前年同数で、合計特殊出生率は低率で維持している。単年での評価は難しいが、25～34歳女性の人口は維持しつつも、35～39歳の出生数が半分に減少、第2子以降の出生割合が例年に比べて減少している。
			実績値	1.17	1.20	1.14	1.40	1.13	1.17	—		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	令和2年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 若い世代の結婚支援											
1) 婚活支援の推進											
すながわ出会い創出支援事業	補助金を利用した婚活事業数 ／2事業(平成27年)→5事業(令和2年)	目標値	2	—	—	—	—	5	—	D	本年の婚活イベントは、コロナ禍による感染症拡大が波を打つ中で、予定事業(元年から延期)はあったが実施に至らなかった。今後は、イベント形式に拘ることなく、オンラインを活用するなど、時代に合った手法により実施する。
		実績値	2	2	2	1	1	0	—		
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援											
1) 妊娠・出産への支援の実施											
妊婦健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用件数 ／800件(令和2年)	目標値	800	800	800	800	800	800	—	C	妊娠届出数は87名、転入者11名と昨年比に増加したが、例年並みに予測した数には至らなかった。妊婦の経済的負担を軽減するため、今後も継続する。
		実績値	498	631	717	631	525	546	—		
特定不妊治療費助成事業	助成を受けた者の満足度 ／70%(令和2年)	目標値	70	70	70	70	70	70	—	A	実績値は目標値を上回った。今年度申請者実3名にアンケートを行い、2名から回答を得、満足と回答され、経済的負担が軽くなる、治療を受ける後押しとなると理由があがっている。次年度も継続し、少子化施策の一助としていく。
		実績値	85.7	80.0	25.0	87.5	100.0	100.0	—		
妊娠・出産支援事業	支援を受けた妊婦の割合 ／73%(平成26年)→90%(令和2年)	目標値	75	80	85	90	90	90	—	A	実績値は、市立病院でマザークラスを休止しているため、訪問の実施率のみの算出とした。乳幼児全戸訪問は高い実施率を維持している。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言下では、1歳児バクバクひろばを3回中止した。集団での活動が制限された時は、個別に電話・面接・文書指導にて支援を継続した。
		実績値	80.2	79.4	74.3	87.3	74.5	98.7	—		
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 ／30%(令和2年)	目標値	30	30	30	30	30	30	—	A	実績値は計画値を大きく上回っている。利用件数は7件と、例年並みである。登録率の高さから、妊婦の安心につながっていると評価できる。今後も周知を徹底し、継続していく。
		実績値	29.9	39.5	35.0	61.4	44.7	63.6	—		
2) 子ども・子育て支援の充実											
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育を利用した者の満足度 ／90%(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	90	—	A	延利用人数は51人、登録数は51人と前年を下回った。下回った理由として、児童が病気になった際、新型コロナウイルス感染拡大防止のため保護者が仕事を休んだことも考えられる。また、世帯として何らかの保育が可能という方が増えたことも考えられる。当施設を必要とする保護者のニーズには応えることができていることから、引き続き安全安心な環境整備を図る。
		実績値	—	—	86.0	91.0	100.0	100.0	—		
市立保育所開放事業	保育所開放事業参加親子組数 ／900組(6年間)	目標値	150	150	150	150	150	150	900	C	今年度も計画値に満たなかった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月、6月の開催を中止した。また、さくら保育園ではノロウイルスの集団感染により2月開催を中止した。消毒等感染症対策を講じた中で、今後も保育事業の理解と地域の保護者への支援を継続していく。
		実績値	98	90	38	93	102	46	467		
市立保育所一時保育事業	一時保育年間利用児童数 ／427人(平成26年)→900人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	900	—	A	前年よりも利用者が1.5倍以上増加したが、希望者には保育士不足等による利用制限をかけることなく受け入れができた。前年に比べ、就労等による非定型的保育が1.5倍以上、心理的・肉体的負担解消のための私的利用保育が2倍以上に増加していることから、今後も一時保育のニーズが高まることが予想され、希望者が安心して子どもを預けられる体制を整えていく。
		実績値	384	413	356	732	679	1,058	—		
学童保育事業	学童保育所持機児童数 ／0人(平成26年)→0人(令和2年)	目標値	0	—	—	—	—	0	—	A	これまで同様待機児童を出さず運営ができた。しかしながら、指導員が不足しており、運営に支障がでないよう指導員を確保することが課題である。また次年度より学校外に設置している北光学童保育所が公営化となることから、事故等なく安心安全な運営を行っていきけるよう、より一層学校・教育委員会とも連携しながら、児童の健全育成を図る。
		実績値	0	0	0	0	0	0	—		
3) 子育て世帯の経済的負担の軽減											
多子世帯保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(令和2年)	目標値	205	—	—	—	—	225	—	A	昨年と比べ入所者は微減となり、特に3～4歳の年齢で入所者が減少していた。低年齢での入所を希望する保護者が多く、今後も多くなる見込みであることから、待機児童を出さないように対応を検討する必要がある。
		実績値	—	209	220	224	253	249	—		
幼稚園就園奨励事業	幼稚園在籍率 ／75%(平成26年)→83%(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	83	—	A	【増減理由】令和元年10月から幼児教育・保育料無償化に伴い、本事業が廃止となったため 【今後の取組】社会福祉課所管の施設等利用給付事業に移行されたため、保護者の経済的負担の軽減は引き続き支援される。
		実績値	78.1	90.1	89.0	88.7	88.0	—	—		
幼稚園保育料負担軽減補助事業	幼稚園在籍率 ／83%(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	83	—	A	令和元年10月から幼児教育・保育無償化に伴い、本事業が廃止となったため。
		実績値	—	—	89.0	88.7	88.0	—	—		

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%未満

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	6年間の総合評価
婚姻届出数	71.2件(平成22～26年平均)	480件(6年間)	目標値	80	80	80	80	80	80	480	C	総合評価: 年度によって届出件数にばらつきはあるものの、ほぼ同水準で推移しているが、令和2年度の届出件数が最も低く、減少傾向にある。
			実績値	64	77	56	58	63	49	367		
合計特殊出生率	1.30(平成20～24年)	1.54程度(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	1.54	—	C	総合評価: 合計特殊出生率は低率で維持している状況である。生産年齢人口である20代、30代の人口が減少している。R2は、出生順位では第1子の出生数と第2子以降の出生数と同数だったが、H30以降は、第2子以降の出生が減少している。
			実績値	1.17	1.20	1.14	1.40	1.13	1.17	—		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	6年間の総合評価	今後の方向性
(1) 若い世代の結婚支援												
1) 婚活支援の推進												
すながわ出会い創出支援事業	補助金を利用した婚活事業数 /2事業(平成27年)→5事業(令和2年)	目標値	2	—	—	—	—	5	—	D	総合評価: 目標には達しなかったが、毎年、団体の活動事業として婚活イベントを実施する団体があり、共通認識のもと事業に取り組めた。また、イベントの様子からきっかけづくりとして成果があると感じるため、イベントを通じて抱めた傾向も参考にして、コロナ禍でも実施が容易な効率的で実効性の高い手法を見つけ、引き続き事業に取り組む。	手段の見直し
		実績値	2	2	2	1	1	0	—			
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援												
1) 妊娠・出産への支援の実施												
妊婦健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用件数 /800件(令和2年)	目標値	800	800	800	800	800	800	—	C	総合評価: 妊婦健康診査にて、道の協定で助成する6回を超えて超音波検査が実施される現状である。妊娠届出状況では全体に緩やかに減少している。目標値の見直しが必要であるが、妊婦の経済的負担軽減のため、今後も継続する必要がある。	現状のまま継続
		実績値	498	631	717	631	525	546	—			
特定不妊治療費用助成事業	助成を受けた者の満足度 /70%(令和2年)	目標値	70	70	70	70	70	70	—	A	総合評価: 実績値は目標値を上回る。治療は高額な治療費と共に、精神的な負担が大きい。子を望む夫婦の経済的負担を軽減することで治療を後押しできる事業として、今後も継続していく。	現状のまま継続
		実績値	85.7	80.0	25.0	87.5	100.0	100.0	—			
妊娠・出産支援事業	支援を受けた妊婦の割合 /73%(平成26年)→90%(令和2年)	目標値	75	80	85	90	90	90	—	A	総合評価: 新型コロナウイルス感染対策のため、集団支援は、状況に合わせて実施するが、妊婦が不安を軽減して出産に向かえ、産後は児の発達時期に応じた疑問や不安を解消しながら、孤立せず、必要な支援につなげられるよう、個別支援を丁寧に継続する必要がある。	現状のまま継続
		実績値	80.2	79.4	74.3	87.3	74.5	98.7	—			
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 /30%(令和2年)	目標値	30	30	30	30	30	30	—	A	総合評価: 実績値は計画値を超えており、平成30年度からは利用料全額助成を行い、妊婦の安心と、活用しやすいサービスになっていると評価する。今後も継続するため、協力先となるタクシー業者の求めに応じて助産師による再講習の必要性を検討する。	現状のまま継続
		実績値	29.9	39.5	35.0	61.4	44.7	63.6	—			
2) 子ども・子育て支援の充実												
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育を利用した者の満足度 /90%(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	90	—	A	総合評価: アンケートにおける「満足」「やや満足」と回答した割合が年々高まっていることから、当施設を必要とする保護者のニーズには応えることができていると考えられる。今後も適宜事前登録を促し、就労して休みが取れない、保育できない保護者のセーフティネットとして、また児童にとって安全安心な環境として整備を図ることが必要である。	現状のまま継続
		実績値	—	—	86.0	91.0	100.0	100.0	—			
市立保育所開放事業	保育所開放事業参加親子組数 /900組(6年間)	目標値	150	150	150	150	150	150	900	C	総合評価: 事業参加組数は各年度とも計画値に満たなかった。平成27年度から平成29年度までは減少傾向にあったが、平成30年度から令和元年度にかけては増加に転じた。これは給食体験企画やチラシ等の掲示などPR活動の成果によるものと考えられる。令和2年度は新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止の観点から事業開催を中止した月があったことから、参加組数が減少した。今後も保育事業の理解と地域の保護者への支援を継続していくことが必要である。	現状のまま継続
		実績値	98	90	38	93	102	46	467			
市立保育所一時保育事業	一時保育年間利用児童数 /427人(平成26年)→900人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	900	—	A	総合評価: 対象者を1歳児に拡大したことや4時間単位の短時間料金を設定したことで、年間利用児童数が年々増加している。今後も一時保育のニーズが高まることが予想されることから、保育士を確保した中で希望者が安心して子どもを預けられる体制を整えていくが必要である。	現状のまま継続
		実績値	384	413	356	732	679	1,058	—			
学童保育事業	学童保育所持機児童数 /0人(平成26年)→0人(令和2年)	目標値	0	—	—	—	—	0	—	A	総合評価: 待機児童を出すことなく運営できた。指導員不足が課題となっており、令和3年度より北光学童保育所が民営から公営となることから、指導員確保がさらに難しくなることが予想される。引き続き指導員確保を含め、事故等なく安心安全な運営を行っていきけるよう、学校・教育委員会とも連携しながら、児童の健全育成を図っていくことが必要である。	現状のまま継続
		実績値	0	0	0	0	0	0	—			
3) 子育て世帯の経済的負担の軽減												
多子世帯保育料軽減事業	保育所入所者数 /205人(平成27年)→225人(令和2年)	目標値	205	—	—	—	—	225	—	A	総合評価: 平成28年度より令和元年度まで全体の入所者数は年々増加していたが、令和2年度は微減した。各年度とも低年齢で入所を希望する保護者が多く、今後も増加の見込みであることから、待機児童を出さないように対応を検討する必要がある。	現状のまま継続
		実績値	—	209	220	224	253	249	—			
幼稚園就園奨励事業	幼稚園在籍率 /75%(平成26年)→83%(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	83	—	A	総合評価: 国が実施する同補助事業に準拠するとともに、市独自のすべての多子世帯に対し年齢制限を撤廃するなど、保護者への負担軽減、支援が図られた。令和元年10月からの幼児教育・保育料無償化に伴い本事業が廃止となったが、本事業対象幼稚園(未移行幼稚園)は、社会福祉課所管の施設等利用給付事業に移行されるため、保護者の経済的負担の軽減は引き続き支援される。	廃止
		実績値	78.1	90.1	89.0	88.7	88.0	—	—			
幼稚園保育料負担軽減補助事業	幼稚園在籍率 /83%(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	83	—	A	総合評価: 平成29年度から令和元年度まで幼稚園在籍者の割合は目標値を上回っていたことから、対象となる保護者の経済的負担軽減は図られていたと考えられる。令和元年10月からの幼児教育・保育無償化に伴い、本事業が廃止となった。	廃止
		実績値	—	—	89.0	88.7	88.0	—	—			

施策名・事業名		重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	令和2年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(令和2年)	目標値	205	—	—	—	—	—	225	—	A	昨年と比べ入所者は微減となり、特に3～4歳の年齢で入所者が減少した。低年齢での入所を希望する保護者が多く、今後も多くなる見込みであることから、待機児童を出さないように対応を検討する必要がある。
		実績値	208	209	220	224	253	249	—			
子育て支援指定ごみ袋配布事業	指定ごみ袋配布枚数 ／225,000枚(6年間)	目標値	39,000	39,000	39,000	36,000	36,000	36,000	36,000	225,000	B	計画値と実績値の差の主な理由は、出生数・転入者数が想定よりも少なかったことによるもの。今後も社会福祉課と連携し、児童手当現況届提出時に申請させるなど、対応を継続する。
		実績値	38,530	36,510	34,170	33,140	30,230	27,510	200,090			
乳児おむつ無料クーポン券支給事業	無料クーポン券利用率(%) ／0%(平成29年)→60%(令和2年)	目標値	—	—	—	60	60	60	60	—	A	令和2年度においては、実績値が目標値を上回る結果となっており、事業の目的としている子育て世帯の経済的負担の軽減につながっていると考える。実績値は昨年度より下がっているが、出生から凡そ一年間の利用が可能であるため、次年度中の利用になると思われ、総体的には例年どおり高い利用率となっている。
		実績値	—	—	—	70.6	112.2	86.6	—			
ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業	無料クーポン券利用率(%) ／0%(平成29年)→80%(令和2年)	目標値	—	—	—	70	80	80	80	—	D	実績値は12.0%と例年と比較しても低く、クーポン券利用世帯も38%と低く推移した。これは、新型コロナウイルス感染症による影響が大きいものと考えられ、緊急事態宣言に伴う北海道子どもの国の施設休止や外出自粛に伴い、クーポン券の利用機会が減少したものと推測される。今後も、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものと考えられるが、状況を注視しながら、親子の触れ合いの機会創出のため、制度周知と利用促進を図っていきたい。
		実績値	—	—	—	19.3	19.6	12.0	—			
インフルエンザ 任意予防接種費用助成事業	中学生以下の接種率 ／29%(平成26年)→50%(令和2年)	目標値	30	35	40	45	50	50	50	—	B	新型コロナウイルス感染拡大予防のため、高齢者の接種率が高まり、ワクチンが不足したため、希望する児に十分接種ができなかった。しかし、自己負担1,000円で実施できる体制は保護者の経済負担支援にもつながり、今後も継続していく。
		実績値	48.4	49.0	49.0	52.1	55.9	43.6	—			

小計(事業数:17、KPI数:17)

KPIの達成度／達成度A:11個 達成度B:2個 達成度C:2個 達成度D:2個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A: 目標値・KPIを達成している B: 達成度80%以上

C: 達成度50%以上80%未満 D: 達成度50%未満

施策名・事業名		重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	6年間の総合評価	今後の方向性
保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(令和2年)	目標値		205	—	—	—	—	225	—	A	総合評価: 平成28年度より令和元年度まで全体の入所者数は年々増加していたが、令和2年度は微減した。各年度とも低年齢で入所を希望する保護者が多く、今後も増加の見込みであることから、待機児童を出さないように対応を検討する必要がある。	現状のまま継続
		実績値		208	209	220	224	253	249	—			
子育て支援指定ごみ袋配布事業	指定ごみ袋配布枚数 ／225,000枚(6年間)	目標値		39,000	39,000	39,000	36,000	36,000	36,000	225,000	B	総合評価: この事業については対象世帯から概ね好評であり、子育て支援という目的は達成されているものと考えられる。	現状のまま継続
		実績値		38,530	36,510	34,170	33,140	30,230	27,510	200,090			
乳児おむつ無料クーポン券支給事業	無料クーポン券利用率(%) ／0%(平成29年)→60%(令和2年)	目標値		—	—	—	60	60	60	—	A	総合評価: 事業を開始した平成30年度から目標値を上回る結果となり、事業の利用ニーズの高さが伺える。子ども・子育て会議において、クーポン券を1年間で使用しきれないという意見をいただき、令和3年度からは2年間の利用を可能としたことで、より長期間にわたり、子育て世帯への経済的負担の軽減に寄与できている。	現状のまま継続
		実績値		—	—	—	70.6	112.2	86.6	—			
ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業	無料クーポン券利用率(%) ／0%(平成29年)→80%(令和2年)	目標値		—	—	—	70	80	80	—	D	総合評価: 平成30年度より事業を開始し制度周知を図ってきたことにより、クーポン券利用世帯は順調に増加し、事業の目的である親子が一緒に過ごす機会の一助となってきた。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による外出機会の減少等により、クーポン券利用率は減少となった。今後は、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、親子が一緒に過ごす機会の創出や子どもの健やかな成長に資するため、制度の利用促進を図っていきたい。	現状のまま継続
		実績値		—	—	—	19.3	19.6	12.0	—			
インフルエンザ 任意予防接種費用助成事業	中学生以下の接種率 ／29%(平成26年)→50%(令和2年)	目標値		30	35	40	45	50	50	—	B	総合評価: 自己負担1,000円で実施できる体制は、予防接種を望む保護者にとって受けやすい環境となっているため、今後も継続する必要がある。	現状のまま継続
		実績値		48.4	49.0	49.0	52.1	55.9	43.6	—			

小計(事業数:17、KPI数:17)

KPIの達成度／達成度A:11個 達成度B:2個 達成度C:2個 達成度D:2個

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	令和2年度実績値に対する所見
民間住宅助成金交付件数	80件(平成26年)	462件(6年間)	目標値	77	77	77	77	77	77	462	A	実績値は、前年度から減少しているが、過年度と比較すると大きく上回っており、堅調な実績であるとする。持ち家の取得・リフォームに対する支援を行うことで、良質な住宅の確保と安心・安全で快適に暮らせる住環境づくりに寄与している。
			実績値	95	92	81	120	152	137	677		
移住定住促進住宅入居率	0%(平成26年)	100%(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	100	—	C	住宅供給4戸に対し2戸入居。(2世帯5人)
			実績値	—	100	100	75	75	50	—		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	令和2年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 安心なくらしの確保											
1) 医療等の充実											
中空知医療圏ネットワークシステム構築事業	連携自治体病院数 ／6自治体病院(令和2年)	目標値	6	0	0	0	0	6	—	A	計画値と実績値の増減なし。平成28年7月に稼働し、平成29年度以降、自治体病院以外の医療機関等との連携及び各自治体での地域包括ケアネットワークシステム構築(連携)を図る。
		実績値	6	0	0	0	0	6	—		
砂川市地域包括ケアネットワーク事業(情報共有ネットワーク事業)	共有した情報へのアクセス数 ／51,000件(6年間)	目標値	1,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	51,000	A	開始から6年半が経過し、事業の浸透が図られたことにより、情報提供の同意件数が順調に推移している。また、医療機関や介護事業所等、関係機関によるアクセス数も順調に増えており、在宅医療・介護連携の推進が図られている。今後も在宅医療・介護の推進を図るため本システムの活用を継続する。
		実績値	469	11,107	15,745	17,845	21,866	25,198	92,230		
2) 健康維持・増進の推進											
健康管理支援事業	各種健診受診者の割合(合計) ／29%(平成26年)→45%(令和2年)	目標値	34	42	42	45	45	45	—	C	実績値は計画値には到達しなかった。国保特定健診の受診率は、前年度より1.4%上昇したがデータヘルス計画の目標値には達しなかった。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、健診やがん検診を中止した日程もあり、受診率を増やすことができなかった。乳幼児健診は日程の変更を行いながらも、受診率はほぼ100%であった。今後も、がん検診、国保特定健診はさらなる受診率向上にむけて取り組んでいく。(元年度確定の実績値38.3%)
		実績値	36.3	36.4	32.2	31.5	37.0	31.9	—		
健康ポイント事業	ポイントカード発行者数 ／1,500人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	1,500	1,500	—	C	年度当初より、新型コロナ禍の影響により、特定健診・がん検診の回数が減少し、昨年度の実績値よりも下回った。健診やがん検診以外にも、申請数が増えるよう周知を図っていく必要がある。
		実績値	—	—	—	—	991	980	—		
3) 高齢者等の在宅生活の支援											
屋根雪下ろし等支援事業	屋根雪下ろし等補助金申請件数 ／792件(6年間)	目標値	132	132	132	132	132	132	792	D	本年度は目標値は下回ったが、大雪となり前年度より大幅な増となった。事業の周知が図られてきおり、高齢者の冬期間の安心した生活確保と事故防止に効果があったと判断していることから継続実施とする。
		実績値	52	8	85	36	1	92	274		
除雪サービス事業	除雪サービス事業利用世帯数 ／433世帯(6年間)	目標値	100	100	59	58	58	58	433	A	利用者の死亡や転出などにより、前年度の利用件数より減少しているが、事業は高齢者の冬期間の安心した生活の確保につながっているため、今後も高齢者の冬期間の在宅支援として継続する。
		実績値	95	92	85	91	79	73	515		
4) JR砂川駅のバリアフリー化の検討											
JR砂川駅バリアフリー化の検討	整備されたバリアフリー設備数 ／2箇所(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	2	—	D	計画値と実績値の増減なし。東口整備等の砂川駅の設備改善に向けて期成会によるJRへの要望を実施し協議を進めながら計画案の具体化に向け検討中。
		実績値	0	0	0	0	0	0	—		
(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化											
1) 良質な住宅ストックの確保											
まちなか住まいる等住宅促進助成事業	まちなか住まいる等住宅促進助成金交付件数 ／210件(6年間)	目標値	35	35	35	35	35	35	210	A	前年度と比較して、実績値は減少しているが目標値は達成しており、今後においても、持ち家の取得促進と良質な住宅の確保を図り、誰もが安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与するため、事業の見直し・拡充を行い継続する。
		実績値	50	43	35	49	55	47	279		
永く住まいる住宅改修助成事業	永く住まいる住宅改修助成金交付件数 ／252件(6年間)	目標値	42	42	42	42	42	42	252	A	前年度と比較して、実績値は減少しているが目標値は達成しており、今後においても、リフォーム工事への支援を行い、良質な住宅の確保と安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与するため、事業の見直し・拡充を行い継続する。
		実績値	45	49	46	71	97	90	398		
住み替え支援事業	住情報の提供延件数 ／25件(6年間)	目標値	0	5	5	5	5	5	25	A	実績値の減少は、コロナ禍により遠方所有者の空き家処分に係る行動が制限されていると考えられる。今後も空き家所有者への意向調査や補助金制度のPRを継続して行い、空き家の利活用を促進する。
		実績値	0	11	14	28	26	20	99		
移住定住促進住宅整備事業	移住定住促進住宅入居率 ／100%(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	100	—	C	住宅供給4戸に対して2戸入居中、(2世帯5人)新たな供給計画はなく、適切な維持管理を行う。
		実績値	—	100	100	75.0	75.0	50.0	—		

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A: 目標値・KPIを達成している B: 達成度80%以上
C: 達成度50%以上80%未満 D: 達成度50%未満

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	6年間の総合評価
民間住宅助成金交付件数	80件(平成26年)	462件(6年間)	目標値	77	77	77	77	77	77	462	A	総合評価: 平成30年度の制度の見直し・拡充により申請件数が大きく増加しており、良質な住宅の確保と安心・安全で快適に暮らせる住環境づくりに寄与したものとする。今後も適宜、制度の見直し・拡充を検討し、制度の利用促進を図る。
			実績値	95	92	81	120	152	137	677		
移住定住促進住宅入居率	0%(平成26年)	100%(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	100	—	C	総合評価: 入居者の異動等により空室がある状況であるが、今後も他市からの移住者の募集を積極的に行うとともに、住戸の適切な維持管理に努める。
			実績値	—	100	100	75	75	50	—		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	6年間の総合評価	今後の方向性
(1) 安心なくらしの確保												
1) 医療等の充実												
中空知医療圏ネットワークシステム構築事業	連携自治体病院数 ／6自治体病院(令和2年)	目標値	6	0	0	0	0	6	—	A	総合評価: ネットワークシステムを利用することにより、紹介・逆紹介時や救急搬送時に迅速に的確な情報収集することが可能になった。指標を連携した医療機関等に見直し。	手段の見直し
		実績値	6	0	0	0	0	6	—			
砂川市地域包括ケアネットワーク事業(情報共有ネットワーク事業)	共有した情報へのアクセス数 ／51,000件(6年間)	目標値	1,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	51,000	A	総合評価: 指標の実績値が目標を大きく上回っており、当初想定した以上に在宅医療・介護連携の推進が図られていることから事業を継続とする。ただし、事業所により情報のアクセス件数が大きく異なることから、実績が少ない事業所へのアプローチが今後も重要である。	現状のまま継続
		実績値	469	11,107	15,745	17,845	21,866	25,198	92,230			
2) 健康維持・増進の推進												
健康管理支援事業	各種健診受診者の割合(合計) ／29%(平成26年)→45%(令和2年)	目標値	34	42	42	45	45	45	—	C	総合評価: 令和元年度末からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響で、国保特定健診やがん検診の実施体制に影響が出たり、受診者も健診や医療受診も控える方もおり、受診率への影響も出ている。しかし、自身の健康を守るためには、健診やがん検診は必須であることを周知しながら、今後もさらなる受診率向上を目指し取り組んでいく。	手段の見直し
		実績値	36.3	36.4	32.2	31.5	37.0	31.9	—			
健康ポイント事業	ポイントカード発行者数 ／1,500人(令和2年)	目標値	—	—	—	—	1,500	1,500	—	C	総合評価: 広報や市ホームページ、市内事業所でのポスター掲示、各事業案内時にチラシを同封するなど周知を図っているが、実際に面接等で説明する機会が令和2年度は限られたため実績値は増加しなかった。しかし、参加されている方からは好評であり、健診受診や体育館利用、血圧や体重記録などの自身の健康管理を意欲的にされていた。又、特典に減塩食品を加えたところ、達成者の約3割が利用された。市民の健康課題を改善できるよう、栄養面からも支援していきたい。	手段の見直し
		実績値	—	—	—	—	991	980	—			
3) 高齢者等の在宅生活の支援												
屋根雪下ろし等支援事業	屋根雪下ろし等補助金申請件数 ／792件(6年間)	目標値	132	132	132	132	132	132	792	D	総合評価: 平成27年度から事業を開始した事業であり周知が不十分であったり、少雪の年では、実績が大幅に少なくなり、目標値を大きく下回ったが、高齢者の事故防止と安心な在宅生活の確保に繋がっているため、今後も事業を継続する。	現状のまま継続
		実績値	52	8	85	36	1	92	274			
除雪サービス事業	除雪サービス事業利用世帯数 ／433世帯(6年間)	目標値	100	100	59	58	58	58	433	A	総合評価: 指標の利用世帯数が目標を上回っており、今後も自力で除雪が困難な高齢者の増加が見込まれるため、継続すべき事業と考えるが、これまで委託している業者においても除雪の担い手の確保が困難であるとの認識であり、除雪の手法を含めてあり方を検討していく必要がある。	手段の見直し
		実績値	95	92	85	91	79	73	515			
4) JR砂川駅のバリアフリー化の検討												
JR砂川駅バリアフリー化の検討	整備されたバリアフリー設備数 ／2箇所(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	2	—	D	総合評価: 目標は未達成だが、ホーム待合室を設置し、東口整備案の協議を実施中である。今後もバリアフリー化による市民の利便性の向上の実現を目指し、取り組みを継続したい。	現状のまま継続
		実績値	0	0	0	0	0	0	—			
(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化												
1) 良質な住宅ストックの確保												
まちなか住まいる等住宅促進助成事業	まちなか住まいる等住宅促進助成金交付件数 ／210件(6年間)	目標値	35	35	35	35	35	35	210	A	総合評価: 各年度において、目標値は達成しており、持ち家の取得促進と良質な住宅の確保に寄与したものと考える。令和3年度に事業の見直し・拡充をしており、今後も事業の周知を行い利用促進を図る。	現状のまま継続
		実績値	50	43	35	49	55	47	279			
永く住まいる住宅改修助成事業	永く住まいる住宅改修助成金交付件数 ／252件(6年間)	目標値	42	42	42	42	42	42	252	A	総合評価: 各年度において、目標値は達成し、平成30年度の事業の見直し・拡充後は、交付件数が大きく増加しており、良質な住宅の確保と安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与したものと考える。令和3年度に事業の見直し・拡充をしており、今後も事業の周知を行い利用促進を図る。	現状のまま継続
		実績値	45	49	46	71	97	90	398			
住み替え支援事業	住情報の提供延件数 ／25件(6年間)	目標値	0	5	5	5	5	5	25	A	総合評価: 住宅相談窓口を設置し、宅建業者との連携や補助金制度のPR活動により目標値を上回る結果となった。今後も制度の周知をより積極的に図ることで、空き家の利活用を促進する。	現状のまま継続
		実績値	0	11	14	28	26	20	99			
移住定住促進住宅整備事業	移住定住促進住宅入居率 ／100%(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	100	—	C	総合評価: 平成28年度より、市外からの移住者を受け入れているが、令和2年度末現在で空室がある状況であるため、今後も入居者の募集を積極的に行うとともに、住戸の適切な維持管理に努める。	現状のまま継続
		実績値	—	100	100	75.0	75.0	50.0	—			

施策名・事業名	重要業績評価指標 (KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	令和2年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成											
1) 他の地方公共団体と連携した施策の実施											
砂川版生涯活躍のまち(OCRC)構想の検討	連携自治体数 ／3自治体(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	3	—	D	事業自体が情報収集の段階であり、具体的な事業に至っていない他、当初想定していた近隣市町の連携も、他市で先行して実施しており連携に至っていない。
		実績値	0	0	0	0	0	0	—		
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	ワンストップ窓口を通じての移住者数 ／8人(6年間)	目標値	—	0	2	2	2	2	8	A	現在、地元学生を対象とした合同企業説明会を継続している。本年はコロナ禍でオンライン方式で実施したため、参加者が78名(砂川高校:11名)と少ないが、地元企業を知る良い機会となっている。今後も広域連携事業として圏域の就業情報等の発信を引き続き取り組む。
		実績値	—	6	0	2	0	0	8		
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保											
1) 市民が主体的に地域づくりに参画することができる環境・仕組みづくり											

小計(事業数:13、KPI数:13)

KPIの達成度／達成度A:7個 達成度B:0個 達成度C:3個 達成度D:3個

合計(事業数:51、KPI数:58)

KPIの達成度／達成度A:29個 達成度B:4個 達成度C:16個 達成度D:9個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A: 目標値・KPIを達成している B: 達成度80%以上
C: 達成度50%以上80%未満 D: 達成度50%未満

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	6年間の合計	達成度	6年間の総合評価	今後の方向性
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成												
1) 他の地方公共団体と連携した施策の実施												
砂川版生涯活躍のまち(CCRC)構想の検討	連携自治体数 ／3自治体(令和2年)	目標値	—	—	—	—	—	3	—	D	総合評価: 近隣市町と連携した構想づくりに向けて情報収集や検討を進めてきたが、単独での構想づくりも含め、構想の実現は困難と判断した。	廃止
		実績値	0	0	0	0	0	0	—			
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	ワンストップ窓口を通じての移住者数 ／8人(6年間)	目標値	—	0	2	2	2	2	8	A	総合評価: R2合同企業説明会のアンケート結果では、回答者のうち約9割の生徒・企業が参加・出展に満足しているほか、回答者のうち約6割の生徒が管内就職を希望している状況から、ミスマッチを防ぐなど、新卒者を地元定着につなげられる可能性の高い事業であることから、継続する必要がある。	現状のまま継続
		実績値	—	6	0	2	0	0	8			
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保												
1) 市民が主体的に地域づくりに参画することができる環境・仕組みづくり												

小計(事業数:13、KPI数:13)

KPIの達成度／達成度A:7個 達成度B:0個 達成度C:3個 達成度D:3個

合計(事業数:51、KPI数:58)

KPIの達成度／達成度A:29個 達成度B:4個 達成度C:16個 達成度D:9個